



栃三小だより 前進 10月号

平成30年10月20日 発行者 五味壽明



子ども例幣使行列

～ふるさとの歴史を学ぶ子どもたち～

10月15日(月)

4年生児童が、栃三小学区のほぼ中央を南北に通る例幣使街道を、江戸時代に221回も通ったという例幣使に扮して練り歩きました。

4年生は「総合的な学習の時間」に「ふるさと学習」として地元の歴史遺産である例幣使街道について調べ学習を続けています。



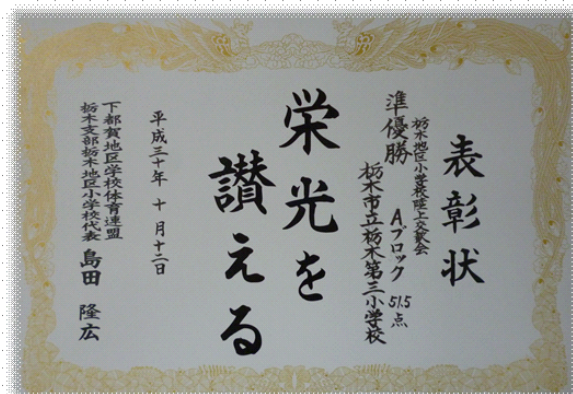
京都を出発した例幣使の行列が中山道を通り、日光に向かったこと、長い道程のうち群馬県高崎市から日光市までの道を「例幣使街道」と呼んでいることなど、例幣使街道を考える会の皆様から詳しい歴史を学んだ4年生。保護者の皆様の力をお借りして衣装を製作したり、大道具小道具を自分たちで作ったりして、史実に沿った行列を再現するために精一杯頑張ってきました。

当日子どもたちは、例幣使街道を考える会の小池様のお宅「油伝味噌」から、ご協力いただきました岡田記念館までの区間を、例幣使になりきって行列を再現し、ふるさとの歴史と文化を、体感を通して学ぶという「ふるさと学習」の目的を達成することができました。

長い道中、例幣使街道を考える会の皆様、嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会の皆様、そのほか地域のたくさんの方々に、安全確保のため、交通整理や誘導などのご支援をいただき、無事に予定通り行列を再現することができました。絶大なご支援をいただきました各方面の皆様にご心より感謝申し上げます。

陸上交歓会で準優勝

10月12日



栃木市栃木地区の小学校13校がAブロック(大規模校6校)とBブロック(小規模校7校)に分かれて学校対抗で競う陸上交歓会。栃三小は2年続けてAブロック準優勝でした。

県内他地区と比較して陸上競技のレベルの高い栃木市ですが、その中であって、栃三小の子どもたちは実力を出し切り、好成績を収めることができました。「学校のために」というより、「自分のために」「大切な場面で持てる力を出し切れる自分になるために」頑張ってもらいたいと、大会前日に子どもたちに話しましたが、当日の子どもたちの活躍がめざましく、結果的に学校として準優勝をとることにつながって、喜びが2倍にふくらみました。

準優勝のトロフィー

